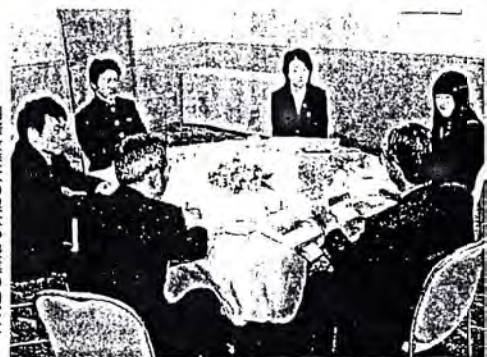


来年四月、雄和町に開学を予定している国際教養大学の実像が明確になってきた。国際社会、国際ビジネスの舞台で通用する語学力と知識を身に付けた人材を送り出すことに主眼を置き、これまでの国内大学にはなかった教育プログラムを実践する方針。教員の陣容も固まりつつあり、準備は着々と進んでいる。開学まで一年を切り、県民の関心が日増しに高まる中、中嶋嶺雄学長予定者と県内の高校三年生、ミネソタ州立大学秋田校(MSU-A)の卒業生が新大学への期待などを語り合った。

国際教養大、開学まで1年切る

真の国際人を育成

高校生、MSU-A卒業生が座談会



国際教養大の理念や授業の内容などについて意見を交わした座談会

基盤教育、徹底的に

少人数授業で密度濃く

中嶋 まず県内の高校とどうに引かれた。それ生の皆さんが、この大学でどうなるかはやってみてどんな関心や期待を持てるかならなければならぬ。新しい環境で勉強できるのは、日本へ来たばかりの高校生にとっては、一層例へるとか、かの大学と違うなと思われ、を打破しようとするのは、カリキュラムが、精神を培う上で、とても大切なこと。今までのようなことではない、いろいろ自由で、既存の枠組みに縛られていない。中嶋 日本の多くの大学が教養課程を廃止し、一年次から専門科目を学ぶ方向に進んでいる。しかし、高校の段階で本当に自分がやりたいことを見いだせるだろうか。大勢、魅力的に映る。カリキュラムの内容も充実していることも多い。国際教



木村 佐知子さん
英大は、二年までは語学(英語と教養の基盤教育)に専念し、三年からグローバル・スタディーズの専門コースを選ぶ。アメリカでは専攻がミスマッチだったと思った際、簡単に転部や転学ができる。そういう意味での自由度も非常に高いはずだ。三浦 留学を義務付けられているところが、とても見いだせるだろうか。大勢、魅力的に映る。カリキュラムの内容も充実していることも多い。国際教



中嶋 MSU-Aはミネソタ州立大学へ留学できたが、国際教養大は中国の二校を加えた。さらに、オーストラリア、イギリス、香港、台湾など、留

キャリアデザイン、インターンシ

社会で生かす 学問に取り



進藤 英語力を鍛える授業をするというが、具体的な内容が知りたい。中嶋 語学についてはMSU-Aが培った集中英語教育(ESL)にプラスアルファした内容になる。例えば、アメリカの地理を英語で学ぶ。地理そのものを学ぶ教育を実施したい。三浦 学問の道幅も覚えることになる。リ

中嶋学長予定者が語る

理念と目指す姿

国際教養大の設想は、文部科学省に申請し、以来の歴史や伝統もある。それらに引き継ぎ、新しい開学準備に大わらわらしている。中嶋 国際教養大の理念や授業の内容などについて意見を交わした座談会

日本にない大学をつくる

語学力、知識を武器に世界へ



国際教養大の設想は、文部科学省に申請し、以来の歴史や伝統もある。それらに引き継ぎ、新しい開学準備に大わらわらしている。中嶋 国際教養大の理念や授業の内容などについて意見を交わした座談会

日本の大学に疑問抱く

「外国語は必要」と認識



中嶋 MSU-Aの卒業生に、体験談を語ってほしい。

戦争は激しかった。そのときだけ多くを学ぼうと、たまたまは詰め込み教育で、先生たちも、いい大学に入ればいい企業に進めると繰り返していた。そんな考え方がないで、中嶋は中国への短期留学も実施し、見聞を広めるともできた。

谷村 日本は大学を卒業して失敗し、それならばアメリカへ行こうと思ったがMSU-Aを選んだ理由、明確な目的意識はなかったが、これが、日本ではそれがすべてを決めてしまう。これからの時代、外国語は必要はせむとも打破しなければいけない。大切なものは、自分が話す英語は小説でも構構するよう、マンガで読む。MSU-Aを修了して、ゼンシに留学したら、いかにも留学生がいないかを自覚させられた。

中嶋 入試は単なるメジャーに過ぎないはずだが、日本ではそれがすべてを決めてしまう。これからの時代、外国語は必要はせむとも打破しなければいけない。大切なものは、自分が話す英語は小説でも構構するよう、マンガで読む。MSU-Aを修了して、ゼンシに留学したら、いかにも留学生がいないかを自覚させられた。

中嶋 入試は単なるメジャーに過ぎないはずだが、日本ではそれがすべてを決めてしまう。これからの時代、外国語は必要はせむとも打破しなければいけない。大切なものは、自分が話す英語は小説でも構構するよう、マンガで読む。MSU-Aを修了して、ゼンシに留学したら、いかにも留学生がいないかを自覚させられた。

組む せる

体制は。

中嶋 国際教養大は四年制大学と認定されている。日米両国の大学卒業者も得られる「デュアル・ディグリー」。進めると、海外の企業におけるインターンシップを重視し、その後の就職活動に有利なプログラムを組む。また、実社会にいた人が教く、本当に社会で生かせる。

中嶋 国際教養大は四年制大学と認定されている。日米両国の大学卒業者も得られる「デュアル・ディグリー」。進めると、海外の企業におけるインターンシップを重視し、その後の就職活動に有利なプログラムを組む。また、実社会にいた人が教く、本当に社会で生かせる。

中嶋 国際教養大は四年制大学と認定されている。日米両国の大学卒業者も得られる「デュアル・ディグリー」。進めると、海外の企業におけるインターンシップを重視し、その後の就職活動に有利なプログラムを組む。また、実社会にいた人が教く、本当に社会で生かせる。



谷村 学さん

谷村 学さん 中嶋 国際教養大は四年制大学と認定されている。日米両国の大学卒業者も得られる「デュアル・ディグリー」。進めると、海外の企業におけるインターンシップを重視し、その後の就職活動に有利なプログラムを組む。また、実社会にいた人が教く、本当に社会で生かせる。

谷村 学さん 中嶋 国際教養大は四年制大学と認定されている。日米両国の大学卒業者も得られる「デュアル・ディグリー」。進めると、海外の企業におけるインターンシップを重視し、その後の就職活動に有利なプログラムを組む。また、実社会にいた人が教く、本当に社会で生かせる。

Akita International University

平成16年4月開学予定 国際教養大学 (認可申請中)

キャンパスツアーのお知らせ

日時/5月31日(土)AM11:00~PM3:00

場所/国際教養大学キャンパス予定地 (河辺郡雄和町) スラザクリストン

内容/模擬授業 (英語での授業が体験できます)

入試概要説明 (平成15年度実施の入試情報をお知らせします)

大学の概要説明 学長予定者講話

キャンパス見学 留学先大学紹介ビデオ上映

※参加無料。受験生はもちろん、高校1~2年生、保護者の方など、どなたでもご参加いただけます。

※県内各地からバスによる無料送迎を行う予定です。詳しくは、事務局までお問合せ下さい。

お問合せ先

秋田県企画振興部国際教養大学設置準備事務局

〒010-8572 秋田市山王三丁目1-1 TEL.018-860-5451・5452 FAX.018-860-5454

URL: <http://www.pref.akita.jp/gakujutu/kokusai.html> E-mail: intluniv@pref.akita.jp